

平成18年度

一般会計歳入歳出決算審査特別委員会報告

委員長 森下昌次

■総務課

Q：庁舎の清掃の委託業者が変わっているが、その成果はどうか。

A：以前と比べれば100万円単位で安くなっている。成果は変わったばかりでまだ何とも言えないが、見積もりは毎年とることになる。

Q：事業所統計調査によれば、5年前より事業所が10%以上減少している。これは調査内容が変更になったのか。

A：事業所が実際減少している。

Q：三俣・三国地区のFM調査の結果はどうだったのか。

A：FM雪国の電波は中継アンテナを設置すれば聴くことができるから、検討する必要がある。

Q：機構改革のための全体経費はどの程度か。

A：工事費700万円、備品

500万円、パソコン等変更200万円程度。

Q：岩原町有地問題について協議をしたか。していないかったら早急に行う必要がある。

A：岩原問題については庁舎内部で1回したがそれ以後はしていない。地元からも何時すとの話が来ているので、秋のうちに足を運びたい。

■税務課

Q：固定資産税の大臣配分を除いた徴収率は。

A：18年度固定現年分徴収率94・67%、大臣分除くと91・72%。

Q：不能欠損の上位5位はどうなっているのか。

A：上位1〜3位は法人で総額2億1千974万1千円、4〜5位は個人で総額561万7千円。原因は倒産・競売・資産なし・本人死亡。

Q：都市計画税は平成11年度に廃止されているにも関わらず現在も滞納があるが、どのような扱いをしているのか。7年も滞納していることをみれば取れないのではないか。合法的に競売にもつていく等考える必要があるのではないか。

A：固定資産税と同様な扱いをしている。

Q：入湯税が預かり金であることを考えれば、その滞納は犯罪である。預かり金であることを理解させるための啓蒙をしてもらいたい。

A：奨学金の滞納の扱いはどうしている。

Q：奨学金の滞納の扱いはどうしている。

A：督促通知・電話・個別訪問している。これから連帯保証人にはたらしかかけていきたい。滞納は過年度分4名。

■教育課

Q：給食費の未納分を他の自治体では校長が自分で払ったということもあるようだが、町の

状況はどうか。

A：給食費の未納は小学校2件、中学校1件である。校長が徴収することが自分が負担していることはない。就学援助対象家庭が多くなっている。

Q：スキーリフト共通乗車券発行75枚の内訳は。

A：小学生295枚・中学生118枚・高校生41枚・学校指導者等55枚・保護者100枚・60歳以上81枚・一般67枚。

Q：資料館の指定管理者等についての考えは。

A：指定管理者は民間の発想導入を考えれば魅力があるが、現在の入り込み数を考えれば商売にならないので受けてくれるかとも考えている。今、職員2名体制でセット券販売をした努力しているのので、結果はこれからと考える。

Q：大和神楽の記録等は残しているのか。

A：ない。今後写真等の展示を行いPRしている。

■地域整備課

Q：草刈りについてはシルバーへの委託が多く、業者の仕事がない。

A：検討する。

Q：町営住宅に収入の多い人が入っていたり、動物・鳥を飼っている者もいる。

A：今後、問題がないようにしたい。

Q：町づくり交付金事業の計画年次は18年から22年となっている。20年から22年の整備予定は。

A：土樽自然公園整備・古野蓬線の待避所整備・土樽12号線の整備を予定している。

■健康福祉課

Q：町は社協に多額の補助金を出している割に、災害時等には町との連携が悪い。町との意思疎通の場はどうなっているのか。

A：通常業務の中では連携を取りながら進めているが、突発的なことについては歩調が合っ